

## 地区運営方針

2018-19 年度 第 2650 地区ガバナー 中川基成

### バリー・ラシン RI 会長テーマ

**BE THE INSPIRATION**    インスピレーションになろう

### RI 会長の基本的考え方

- ① クラブやロータリアンとのコミュニケーションや関係性を高める。
- ② ロータリアンの意欲を喚起する。
- ③ ロータリーのチームワークを高める。
- ④ 持続可能な変化を生み出す活動の研究と計画を進める。
- ⑤ ロータリーの可視性を高め入会の魅力を発信する。
- ⑥ 世界中の家庭にロータリーの使命を届ける
- ⑦ 公共イメージ向上のためデジタルツールを活用する。
- ⑧ 環境問題・地球温暖化問題への取り組みを進める。

### RI 会長のリーダーシップ = LEAP(躍進・大きな変化)

ロータリーへの愛情 (Love)	変化への熱意 (Enthusiasm)
大胆に挑戦 (Audacity)	模範となる (Proof)

### 新ビジョン声明

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして、自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

### ロータリー賞 (詳細前掲)

- ・ロータリー戦略計画の優先事項を支えるために、各活動項目を達成したクラブを称えることを目的とする。
- ・クラブが My ROTARY でクラブ・会員情報を更新し  
ロータリークラブ・セントラルを使って達成状況を確認する。
  1. クラブのサポートと強化 (3 項目達成)
  2. 人道的奉仕の重点化と増加 (3 項目達成)
  3. 公共イメージの向上と認知度の向上 (3 項目達成)

上記の会長テーマ・基本的考え方・新ビジョン声明・ロータリー賞をもとにして、次の重点項目を掲げて、国際ロータリー第 2650 地区 2018-19 年度地区運営を推進します。

## 1. クラブの活性化

クラブの自主性を尊重し、個性あるクラブ作りを支援する。  
ロータリー賞・ガバナー賞への挑戦を奨励する。

- A. クラブ運営の活性化・会員基盤の強化・会員増強を図るための施策をクラブ戦略計画委員会で検討する。

クラブ戦略計画委員会は基本的に直前会長・会長・会長エレクト・会長ノミニの4名が核となって、クラブ運営の基本戦略を立てて継続的な取り組みにより、その成果をあげることを目的とする。(職業分類の最新化・会員種別の新設・女性会員の増員目標設定)  
新クラブ設立を支援する。(学友を中心とした新クラブ・柔軟性を生かした新クラブ)

- B. クラブ例会において会員相互が様々な職業理念や奉仕活動について学びあい、親睦を深められるよう、クラブ例会の活性化を奨励する。(Enter to learn, Go forth to serve.)  
会員相互の理解を深め、多様性や高潔性などロータリー理念を相互に学びあうことを奨励する。(Join Leaders)(Exchange Ideas) (Take Action)

- C. Rotary プログラムの各種研修セミナー・大会・親睦会への積極的参加者が増えることにより、クラブの活性化に向けた会員の意識改革を促進する。

地区の主催する各種研修セミナーは、ロータリーを学ぶ意味でも極めて貴重な機会であり、IM や地区大会や国際大会はロータリアン相互の交流・情報交換・親睦を深めることができる場として積極的参加者が増えることを奨励する。

(地区大会参加者目標:2800名 国際大会参加者目標:150名)

## 2. 奉仕活動の奨励

ロータリアンは People of Action であるとの自覚のもと、職業奉仕・社会奉仕・青少年奉仕・国際奉仕を実践する。

- A. 自らの職業において、ロータリーでの学びを生かした経営・人材育成を実践する。  
四つのテストをまず自らの行動基準とすること、ロータリーの中核的価値観の中の多様性・高潔性・リーダーシップを日ごろの職場で実践することを奨励する。

- B. 人道的奉仕事業に参加し、地域社会・国際社会に貢献する。  
地域社会や国際社会への関心を高めて、様々なプログラムの企画に挑戦し、できるだけ多くの会員が奉仕事業に参加するように奨励する。  
ロータリー財団への理解を深め、地区補助金上限額を使用した奉仕活動を企画することやグローバル補助金プログラムへの参加を支援する。  
ロータリー財団への寄付(一人当たり180ドル以上)  
ポリオプラスへの寄付(一人当たり30ドル以上)  
米山奨学会への寄付(一人当たり24,000円以上) ※ただし、1月1日現在の会員数を基準  
ロータリー希望の風奨学金への寄付(一人当たり5,000円以上)  
を奨励する。
- C. 青少年の人づくり・指導者育成に貢献する。  
インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換の各プログラムへの理解を深めて、やりがいをもって参加しロータリーの良さに共感する青少年がふえるように奨励する。(インターアクト会員およびローターアクト会員の10%以上増強をはかる。)  
財団奨学生や米山奨学生との交流と国際親善に努める。

### 3. 公共イメージの向上

ロータリーの使命に関心を寄せる人々をふやす。

- A. ロータリアン自身がロータリーの良さを、家族・友人・職場・地域社会に伝える。  
ロータリーの価値や使命に関心をもち共感できる人々を、身近なところからふやしていくことを奨励する。ひいては、ロータリーの奉仕活動に参加する人々やロータリー会員候補を見出していく。(People of Action キャンペーン活用)
- B. My Rotary を登録し、ロータリー情報の活用をはかることを奨励する。  
会員自らがロータリー情報に関心をもち、ロータリーを学び、実践し、発信していくためにも My Rotary の有効活用をはかる。  
(各クラブ内 My Rotary 登録率 80%を目指し、特に入会 5 年以内の会員は登録率 100%を奨励する。)
- C. 他団体との共同奉仕事業により、人々のロータリーへの関心を高めることに努める。  
社会奉仕事業はできる限り、他団体との協力関係を築きながらロータリーとしての独自性も発揮して参加型の社会貢献を果たすことを奨励する。(ロータリーデーの開催)  
マスコミや SNS などの記事掲載により、ロータリーの公共イメージ向上をはかる。  
(ロータリーショーケースへの投稿を奨励する)

以上